

第74回春季千葉県高等学校野球大会 優勝

2021年5月4日(火) 千葉県野球場 各紙の報道より

千葉日報

発行所 郵便番号 260-0013 千葉市中央区中央4丁目14番10 千葉日報社 電話 043(222)9211



千葉学芸初V

春季千葉県高校野球大会で専大松戸を8-2で破り初優勝し、喜びの千葉学芸ナイン。4日午後、千葉市稲毛区の県総合スポーツセンター野球場(記事10画)

(第三種郵便物認可)

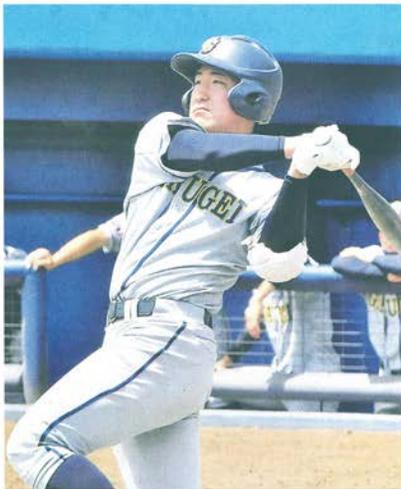
5/8日誌スポーツ

(日刊)

2021年(令和3年)5月5日(水曜日)

(10)

学芸 専松破り頂点



猛打さく裂 勢い証明
県高校野球
第74回春季千葉県大会
野球場は決勝日4日、初優勝を
...



1回裏専大松戸無死一、三塁、山口のスライズで三走吉岡が生還

「もう一回スタート」専松・吉岡
千葉学芸に打込後、選抜出
場から初優勝した、専大
...

振ってきた成果
千葉学芸・高野伸介監督
の語、毎日エッセイ
...

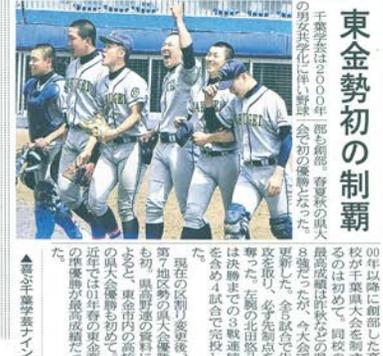


8回裏千葉学芸2死満塁、一戸の左前打で生還し喜ぶ2走佐藤

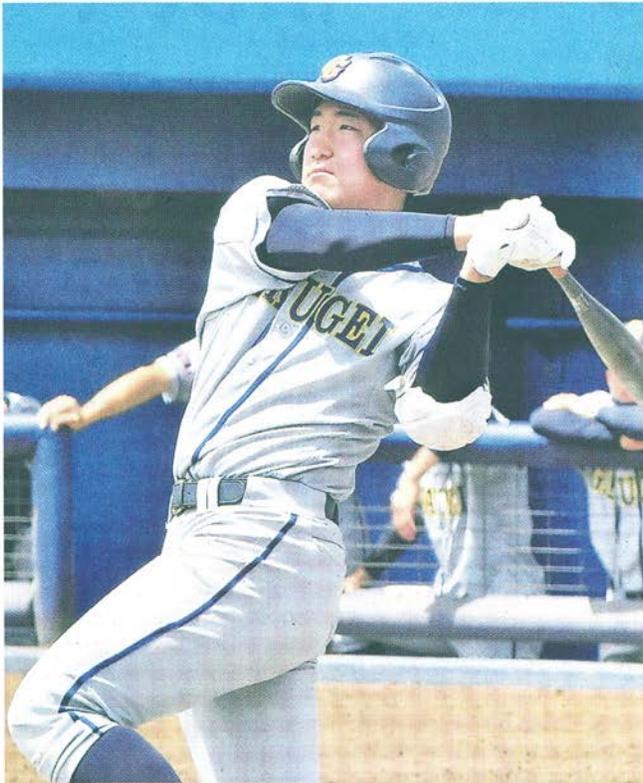
東金勢初の制覇
千葉学芸は2000年部創部、春季大会の最大
...

大一番で4安打 学芸・佐藤
千葉学芸の佐藤が安打を連発し、8回裏に三塁打を
...

Scoreboard table showing runs, hits, errors for Chiba Gakugei and Maeda Matsudo.



# 学芸 専松破り頂点



最終日

第74回春季千葉県高校野球大会最終日は4日、県総合スポーツセンター野球場で決勝が行われ、千葉学芸が今春の選抜大会に出場した専大松戸を

8-2で破り、初優勝を飾った。千葉学芸は一回に有蘭の先制二塁打などで得点。4-2の八回に1得点し突き放した。

両校は春季関東大会(15日開幕・山梨県)に出場し、千葉学芸は関東一(東京2位)と、専大松戸は駿台甲府(山梨1位)と初戦を迎える。

## 猛打さく裂 勢い証明

### ハイライト

晴天へ人差し指を突き上げ、歓喜の輪が膨らんだ。2000年の創部から21年。千葉学芸が夏秋含め初めて頂点に立った。春の甲子園に出場した専大松戸を17安打で崩し8得点。群雄割拠の千葉に新風を吹き込んだ。勢いを証明するような猛打だった。一回に5戦連続の先制点。二塁打と犠打後、高校通

で左翼フェンスに直撃させた。続く板倉颯汰が中堅左へ運び本塁突入。貴重な追加点に貢献した。

専大松戸とは昨秋、準々決勝で延長十六回の視線も注がれる中、「その敵しい球でも打てるように」とチームの柱で居続けた。笑みを浮かべ、「関東大会は夏に向けた良い経験」としたい。学芸にとって春の優勝はまだ、通過点に過ぎない。

## 東金勢初の制覇



千葉学芸は2000年部も創部。春夏秋の県大の男女共学化に伴い野球会で初の優勝となった。

00年以降に創部した高校が千葉県大会を制するのは初めて。同校の最高成績は昨秋などの県8強だったが、今大会で更新した。全5試合で先攻を取り、必ず先制点を奪った。左腕の北田悠斗は決勝までの3戦連続を含め4試合で完投した。

現在の区割り変更後、第7地区勢の県大会優勝も初。県高野連の資料によると、東金市内の高校の県大会優勝も初めて。近年では01年春の東金商の準優勝が最高成績だった。

▲喜ぶ千葉学芸ナイン

千葉学芸―専大松戸  
6回表千葉学芸2死、  
左フェンス直撃の二塁  
打を放つ有蘭＝県総合  
SC

千葉学芸打安点振球						
④	藤	6	3	0	0	0
⑤	藤	4	1	1	1	0
⑥	木	5	2	2	1	0
⑦	有	5	2	2	1	0
⑧	板	5	4	1	0	0
⑨	倉	5	4	1	0	0
⑩	藤	3	0	0	0	1
⑪	川	3	0	0	0	1
⑫	谷	4	3	2	0	0
⑬	戸	3	2	0	0	2
⑭	野	3	2	0	0	2
⑮	田	3	0	0	1	1
⑯	田	3	0	0	1	1
⑰	北	3	0	0	1	1
⑱	田	3	0	0	1	1
⑲	田	3	0	0	1	1
⑳	田	3	0	0	1	1
㉑	田	3	0	0	1	1
㉒	田	3	0	0	1	1
㉓	田	3	0	0	1	1
㉔	田	3	0	0	1	1
㉕	田	3	0	0	1	1
㉖	田	3	0	0	1	1
㉗	田	3	0	0	1	1
㉘	田	3	0	0	1	1
㉙	田	3	0	0	1	1
㉚	田	3	0	0	1	1
㉛	田	3	0	0	1	1
㉜	田	3	0	0	1	1
㉝	田	3	0	0	1	1
㉞	田	3	0	0	1	1
㉟	田	3	0	0	1	1
㊱	田	3	0	0	1	1
㊲	田	3	0	0	1	1
㊳	田	3	0	0	1	1
㊴	田	3	0	0	1	1
㊵	田	3	0	0	1	1
㊶	田	3	0	0	1	1
㊷	田	3	0	0	1	1
㊸	田	3	0	0	1	1
㊹	田	3	0	0	1	1
㊺	田	3	0	0	1	1
㊻	田	3	0	0	1	1
㊼	田	3	0	0	1	1
㊽	田	3	0	0	1	1
㊾	田	3	0	0	1	1
㊿	田	3	0	0	1	1
0	田	3	0	0	1	1
1	田	3	0	0	1	1
2	田	3	0	0	1	1
3	田	3	0	0	1	1
4	田	3	0	0	1	1
5	田	3	0	0	1	1
6	田	3	0	0	1	1
7	田	3	0	0	1	1
8	田	3	0	0	1	1
9	田	3	0	0	1	1
10	田	3	0	0	1	1
11	田	3	0	0	1	1
12	田	3	0	0	1	1
13	田	3	0	0	1	1
14	田	3	0	0	1	1
15	田	3	0	0	1	1
16	田	3	0	0	1	1
17	田	3	0	0	1	1
18	田	3	0	0	1	1
19	田	3	0	0	1	1
20	田	3	0	0	1	1
21	田	3	0	0	1	1
22	田	3	0	0	1	1
23	田	3	0	0	1	1
24	田	3	0	0	1	1
25	田	3	0	0	1	1
26	田	3	0	0	1	1
27	田	3	0	0	1	1
28	田	3	0	0	1	1
29	田	3	0	0	1	1
30	田	3	0	0	1	1
31	田	3	0	0	1	1
32	田	3	0	0	1	1
33	田	3	0	0	1	1
34	田	3	0	0	1	1
35	田	3	0	0	1	1
36	田	3	0	0	1	1
37	田	3	0	0	1	1
38	田	3	0	0	1	1
39	田	3	0	0	1	1
40	田	3	0	0	1	1
41	田	3	0	0	1	1
42	田	3	0	0	1	1
43	田	3	0	0	1	1
44	田	3	0	0	1	1
45	田	3	0	0	1	1
46	田	3	0	0	1	1
47	田	3	0	0	1	1
48	田	3	0	0	1	1
49	田	3	0	0	1	1
50	田	3	0	0	1	1
51	田	3	0	0	1	1
52	田	3	0	0	1	1
53	田	3	0	0	1	1
54	田	3	0	0	1	1
55	田	3	0	0	1	1
56	田	3	0	0	1	1
57	田	3	0	0	1	1
58	田	3	0	0	1	1
59	田	3	0	0	1	1
60	田	3	0	0	1	1
61	田	3	0	0	1	1
62	田	3	0	0	1	1
63	田	3	0	0	1	1
64	田	3	0	0	1	1
65	田	3	0	0	1	1
66	田	3	0	0	1	1
67	田	3	0	0	1	1
68	田	3	0	0	1	1
69	田	3	0	0	1	1
70	田	3	0	0	1	1
71	田	3	0	0	1	1
72	田	3	0	0	1	1
73	田	3	0	0	1	1
74	田	3	0	0	1	1
75	田	3	0	0	1	1
76	田	3	0	0	1	1
77	田	3	0	0	1	1
78	田	3	0	0	1	1
79	田	3	0	0	1	1
80	田	3	0	0	1	1
81	田	3	0	0	1	1
82	田	3	0	0	1	1
83	田	3	0	0	1	1
84	田	3	0	0	1	1
85	田	3	0	0	1	1
86	田	3	0	0	1	1
87	田	3	0	0	1	1
88	田	3	0	0	1	1
89	田	3	0	0	1	1
90	田	3	0	0	1	1
91	田	3	0	0	1	1
92	田	3	0	0	1	1
93	田	3	0	0	1	1
94	田	3	0	0	1	1
95	田	3	0	0	1	1
96	田	3	0	0	1	1
97	田	3	0	0	1	1
98	田	3	0	0	1	1
99	田	3	0	0	1	1
100	田	3	0	0	1	1

# 大一番で4安打 学芸・佐藤

千葉学芸の佐藤終汰が交錯し適時二塁打。八回チーム最多の5打数4安打と気を吐いた。1-0で、一戸大輝の2点打で、一回2死三塁で右中間7点目の生還。「左右に強打者2人の後に回るへ飛ばすと、相手守備が打ち分けることができ、打順を流れを切らして



8回表千葉学芸2死満塁、一戸の左前打で生還し喜ぶ二走佐藤

はいけない大事な役割と心得る。準決勝までの4試合では計2安打と低調だったが、初優勝の懸かった大一番で奮起した。

正捕手としても北悠斗を好リード。存在感を増したエースを「小柄で球の出どころが低く、腕の振りも変わらないから打ちにくい」と評する。ただ、「もっと絶対的なエースになってほしい」と女房役として同じ3年生にハッパを掛けた。

## 振ってきた成果

千葉学芸・高倉伸介監督の話 毎日千スイングを目標に振ってきた成果が出た。ほとんどの先発投手は有蘭の予定だったが、選手希望で当日朝に北田に変更した。よへ投げた。

## 関東も勝ち進む

千葉学芸・斎藤聖弥主将の話 千葉で初の頂点を取るため練習してきた。この優勝で満足せず関東大会でも勝ち進みたい。甲子園出場に向け、夏につなげられるように戦ってきたい。

▽決勝 (県総合SC)

千葉学芸	2	10	00	1	040	8
専大松戸	2	00	000	000	000	2

(千) 北田一佐藤

(専) 鈴木、中館、岡本一加藤

▽二塁打 斎藤、有蘭2、佐藤 (以上千) 石井 (専)

【評】千葉学芸は計17安打13残塁も押し切った。3-2の六回に有蘭が適時二塁打。八回に2死から一戸の2点打などで突き放した。北田は114球で3戦連続完投。専大松戸は一回の山口の同点スクイズ以降打線沈黙。

(日刊)

2021年(令和3年)5月5日(水曜日)

(10)



1回裏専大松戸無死一、三塁、山口のスクイズで三走吉岡が生還

## 「もう一回スタート」専松・吉岡



千葉学芸に打ち込まれ、選抜出場から敗戦だった。専大松戸の吉岡道泰主将は「選抜が終わって1つタイトルを取ろうとやってきたが、素直に悔しい」と唇をかんだ。準決勝までわずか2失点の堅守が17安打と猛攻された。

吉岡が悔やんだのが2失点目。一回、3番有蘭直揮に1点先制されることまでは想定内だったが、その後の2死三塁。5番打者が右中間へ打ち上げた打球を守備が交錯し取り損ねた。失策は記録されなかったが「普段の自分たちではあり得ないプレー」と吉岡。すぐさま山口颯大のスクイズなどで同点としたが、持ち味を欠いたチームは勢いに乗れなかった。

夏を見据え、試行錯誤を重ねた今大会。打順を組み替えながら準決勝まで3戦連続リード勝ちと打撃は成長を示していた。だが決勝は技巧派左腕を前に散発5安打。持丸修一監督は「ああいう投手を打てるようにならないと夏は今の舞台で戦えない」。甲子園で失点に絡んだ悔しさを晴らすようにと新主将に任命された吉岡。「自分もチームも、もう一回スタートラインに立ちたい」。秋は県3位から選抜初出場への負けもまた進化のきっかけにする。

### 頑張らないと

専大松戸・持丸修一監督の話 選抜と同じで課題がいっぱい見つかった。やったね。まあいいけど。相手は打てるボールをしっかり打った。うちも頑張らないと。補強することが鮮明になった。

### 相手の方が上手

専大松戸・吉岡道泰主将の話 初回の入りで、少ない好機をものにできなかったのが敗因。詰めの甘さを感じた。中盤の1点、終盤の1点が取れず、千葉学芸の方が上手だった。



# 千葉学芸が初優勝

## 選抜出場の専大松戸破る

春季県高校野球大会（県高野連主催、朝日新聞社など後援）は4日、千葉市稲毛区の県総合スポーツセンター野球場で決勝があった。千葉学芸が8-2で今春の選抜大会出場校の専大松戸を破り、初優勝を果たした。千葉学芸は2000年の共学化に伴って創部して以来初めての決勝進出で、快挙を遂げた。両校は15日から山梨県で開かれる関東大会に出場する。専大松戸の関東大会の出場権獲得は2年ぶり11度目。



千葉学芸—専大松戸 完投した千葉学芸の北田のもとに駆け寄り、優勝を喜ぶ選手たち=いずれも県総合SC野球場

### 春季県高校野球

▽決勝  
千葉学芸 21000001004008  
専大松戸 200000000000002

①：千葉学芸が攻めの姿勢を貫き、快勝した。千葉学芸は一回、先頭打者の斎藤が左翼線二塁打を放って出塁し、その後、3番有蘭の右中間適時二塁打で先制。同点で迎えた二回には、2死二、三塁の好機に鈴木結が適時打で決勝点を挙げた。八回には一挙に4

得点し、試合を決定づけた。この試合、チーム全体で17安打を放った。エースの北田は、スライダ―やチェンジアップなどの変化球を交えた巧みな投球をみせた。114球で9回を投げきる好投だった。

専大松戸は一回、大森の適時打、山口のスライズで計2得点。その後は、打線がつかぬまま、計5安打にとどまった。

## 攻めの姿勢で114球完投

### 千葉学芸 北田悠斗投手



最後の一球を投げる 千葉学芸の北田投手

千葉学芸が2点を先制した直後の一回裏、エースの北田悠斗投手（3年）は早くもピンチを迎えていた。先頭打者に二遊間の安打で出塁をゆるした後、次打者の投前バントを一塁に悪送

球し、ピンチを広げてしまう。北田投手は「緊張もあった」と振り返る。その同点に追いつかれ、ベンチに戻ると、チームメイトから「攻めの姿勢で行け。気持ち

で投げろ」と声をかけられた。その言葉で気持ちを切り替えることができた。一回以降は落ち着いた投球で、5イニングを三者凡退に抑えた。

専大松戸には、昨秋の県大会準々決勝で延長十六回の激闘の末、サヨナラ負けした悔しい思いもあった。冬に投げ込みと走り込みを重ね、変化球の制球力アップに取り組んできた。

直球は120キロ後半半が中心で、目立って速いわけではない。体重は62キロと細身だが、冬のトレーニングが実を結び、今大会では変化球を低めに集める丁寧な投球で、強打者を次々と打ち取った。5試合中4試合を1人で投げきってつかんだ初優勝。「関東大会は初めてなので、緊張せずに楽しみなが攻めの姿勢を貫いて集中したい」と話した。

（竹中美貴）

千葉学芸	打点	0	1	2	1	0	2	0	0	7
専大松戸	打点	2	0	0	0	0	0	0	0	2
千葉学芸	安打	3	1	2	4	0	3	2	0	17
専大松戸	安打	2	0	2	0	0	0	1	0	5
千葉学芸	三塁打	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	三塁打	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	四球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	四球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	犠打	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	犠打	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	犠飛	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	犠飛	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	盗塁	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	盗塁	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	失点	2	0	0	0	0	0	0	0	2
専大松戸	失点	8	2	0	0	0	0	0	0	10
千葉学芸	自点	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	自点	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	エラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	エラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	捕逸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	捕逸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	併殺	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専大松戸	併殺	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉学芸	三振	5	3	3	4	3	3	2	0	25
専大松戸	三振	3	3	2	1	3	1	4	4	21
千葉学芸	被三振	1	1	3	8	1	7	5	1	33
専大松戸	被三振	5	1	1	3	3	1	2	1	20
千葉学芸	投球数	138	117	138	117	138	117	138	117	138
専大松戸	投球数	117	138	117	138	117	138	117	138	117
千葉学芸	球速	138	117	138	117	138	117	138	117	138
専大松戸	球速	117	138	117	138	117	138	117	138	117
千葉学芸	投手	北田	木	有	石	石	石	石	石	石
専大松戸	投手	大森	山口	大森	山口	大森	山口	大森	山口	大森

### 春季県高校野球大会

第74回春季県高校野球大会の決勝が4日、県野球場（千葉市稲毛区）で行われ、千葉学芸が春の甲子園大会出場校の専大松戸を8-2で下し、初優勝を決めた。

優勝校の千葉学芸と準優勝校の専大松戸は、15日から山梨県で開催される春季関東大会へ出場する。千葉学芸は春・秋通じて初の関東大会出場。専大松戸は2年ぶり11度目の春の関東大会出場となる。

# 千葉学芸圧勝 初の頂点

千葉学芸は初回到3番・有蘭と5番・佐藤の適時二塁打で2点を先制。専大松戸もその裏、3番・大森の適時打と4番・山口のスクイズで2点を取り返すなど、初回は点を取り合う展開となった。千葉学芸が二回到2番・鈴木結の適時打で1点を勝ち越し、六回にも4番・板倉の適時打で追加点を奪う

春季県大会で初優勝を決め、マウンドに集まり喜ぶ千葉学芸の選手たち  
（いずれも4日、県野球場）  
（長橋和之撮影）

▽決勝
千葉学芸
21000001004008
専大松戸
20000001000002



○千葉学芸・高倉伸介監督「1日1千スイングを目標に選手それぞれが頑張ってきた。結果が出て選手たちもほっとしている」

○千葉学芸・斎藤聖弥主将「優勝できてほっとしている。この優勝を糧に関東大会でもしっかり勝てるようにやっていきたい」



は、「秋の段階ではコントロールが良くなかった」が、冬場の投げ込みや走り込みでコントロールとキレが増した。投げ込みは1日30球と少ない球数でコースに投げるように意識して練習したという。

初出場となる関東大会に向け、「緊張せずに楽しみながらも、攻めの姿勢を貫きたい」と意気込みを語った。（長橋和之）

## 関東大会も「攻めの姿勢貫きたい」

### 千葉学芸3年 北田悠斗投手

9回を投げ、5安打2失点114球の気迫の投球でチームを初優勝に導いた。前日の準決勝でも9回を完投しながら疲れを感じさせない投球を見せた。初回到2点を奪われた後、チームメートから「攻めの姿勢でいけ」と声をかけられたことが大きかったと振り返る。直球は130km前後と決して速くはなかったが、「スライダーの調子が良かった」と変化球を巧みに織り交ぜた投球で、二回以降は専大松戸のスコアボードに0を並べた。九回には2死一、二塁のピンチを招いたが、専大松戸の7番・加藤を渾身の直球で三振に打ち取るとマウンド上で雄たけびをあげた。専大松戸打線を苦しめた変化球

と、試合は千葉学芸のペースに。八回には7番・一戸の2点適時打など打者一巡の猛攻で一挙に4点を奪い、試合を決定づけた。千葉学芸は17安打8得点で専大松戸を圧倒。春の甲子園大会出場校を破り、春季県大会初優勝を飾った。専大松戸は1点を追う三回、1死一、三塁で4番・山口が併殺打に倒れて同点に追いつくことができず、九回にも2本の安打で2死一、二塁としたが、千葉学芸のエース・北田の前に好機を生かすことができなかった。

# 千葉学芸 初V

春の高校野球県大会

## 北田 3 試合連続完投

春の高校野球県大会は4日、千葉市稲毛区の県野球場で決勝が行われ、千葉学芸が今春の選抜大会に出場した専大松戸を8-2で破り、初優勝を果たした。両校は県代表として、15日から山梨県で開かれる関東大会に出場する。

◆決勝  
千葉学芸 2 1 0 0 0 1 0 4 0  
専大松戸 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0  
2 8  
(千) 北田 1 佐藤  
(専) 鈴木、中館、岡本 加藤  
▽二塁打 斎藤、有蘭、佐藤(千)  
石井(専)

千葉学芸は2点リードで迎えた八回、先頭の斎藤が安打で出塁し、犠打でチャンスを広げた。板倉、一戸の適時打に加え、四球や暴

安打5、2失点と相手打線は「北田は調子が悪いながらも踏ん張って投げてくれた。3試合連続で完投した。2点を先制された専大松戸は一回無死一、三塁から大森の適時打、山口のスクリーズで、すぐ同点に追いついた。その後は好機で併殺に倒れるなど、あと一本が出ず、本塁は遠かった。千葉学芸の高倉伸介監督は「北田は調子が悪いながらも踏ん張って投げてくれた。同点にされた後、次の1点を先に取ることができた。今までやってきた成果を存分に出したのではないかと語った。」

球に対応できなかった」とした。



千葉学芸

板倉 颯汰 選手(3年)

狙い球を決めた。初回から徹底的に攻められ、3打席連続で凡退した内角の直球だ。「今度こそ絶対に打つ」。六回二死二塁、いつも通り左打席に立った。ファウルで粘り、内角直球を逆方向にはじき返し、待望の追加点を挙げた。

昨秋の県大会。チームは快進撃を

初優勝を果たし、喜ぶ千葉学芸の選手ら(4日、県野球場)

## 雪辱果たしさらに先へ

見せ、初めて準々決勝まで勝ち進んだ。4強入りを阻んだのが専大松戸だ。延長サヨナラ負けを喫し、自身は1安打に抑えられた。「あのレベルを超えなければ、優勝はできない」と打撃を見直した。パワーをつけるとともに、速球に反応するため、重ねたタイヤに跳び乗るトレーニングで下半身を鍛えた。

今大会は初めて4番に座り、打率5割と好調のまま決勝を迎えた。宿敵との再戦に気合を入れ、途中まで苦しめられたインコース攻めを力で克服。八回にもため押しの一打を放ち、主砲の役目を果たした。

初の関東大会に向け、「全国レベルを肌で感じ、成長につなげたい」と闘志を燃やす。最大の目標は、その先にある。夏の県内の頂点に立ち、甲子園の地を踏むことだ。(萩原凱)

春季県高校野球

# 千葉学芸が初優勝

## 17安打で専大松戸圧倒



初優勝を決め、マウンドに集まって喜ぶ千葉学芸の選手たち。千葉市稲毛区の県野球場で。

第74回春季県高校野球大会(県高野連など主催)は4日、千葉市稲毛区の県野球場で決勝が行われた。千葉学芸が今春のセンバツ出場校の専大松戸に8-2で勝利し、初優勝を飾った。両校は15日から山梨県で行われる春の関東大会に出場し、千葉学芸は15日に関東一(東京)、専大松戸は16日に駿台甲府(山梨)とそれぞれ対戦する。【秋丸生帆】

打線振るわず

加えて突き放した。専大松戸は5安打と打線が振るわなかった。

伸びしろまだある

千葉学芸・高倉伸介監督「秋季大会で負けた専大松戸と試合することを目標に、冬は素振り1日1000本に取り組んだ。17安打の結果に選手もやっぴきったことが間違っていない。まだ伸びしろはある。」

千葉学芸が計17安打で圧倒した。千葉学芸は初回、有園の右中間への二塁打などで2点を先取。その後も着実に加点し、8回には打者一巡の猛攻で4点を

◇千葉県大会(県野球場)

▽決勝

千葉学芸 21000010040028

専大松戸 20000010040028

(千)北田・佐藤(専)鈴木、中館、岡本・加藤(千葉学芸は初優勝)

### うちまくってリベンジした

### スポーツ報知

千葉学芸 今春センバツ出場の専大松戸を投打で圧倒し、春、夏、秋を通じ初めて千葉の頂点に立った。準々決勝で高校通算57号を放ったプロ注目の有蘭直輝三塁手(3年)が2本の二塁打を放つなど、17安打8得点。昨秋の県準々決勝で延長16回サヨナラ負けを喫した相手に雪辱を果たした。全員が素振り1000本をこなしてきた成果が実り、高倉伸介監督(45)は「努力は間違っていないかった」と選手をたたえた。



## 千葉学芸 高等学校

CHIBA GAKUGEI HIGH SCHOOL

〒283-0005 千葉県東金市田間1999番地 学校法人高橋学園

1999 TAMA TOGANE CHIBA JAPAN

TEL 0475-52-1161

FAX 0475-52-1163

ホームページ http://www.cgh.ed.jp/

毎日新聞